

# ふくしま。GAPチャレンジ 「応援フラッグ」イベント

福島県では県内のGAP認証農産物を国内外の皆さまに食べていただけるよう、イベント等を通して積極的にPRしています。  
イベントでは、多くの皆さまからGAPに取り組む生産者へ向けた応援メッセージをいただいております。

これまで**877**名の皆様から  
応援メッセージをいただきました。  
※令和元年12月現在



## 学校におけるGAP認証への取組

教育現場でも、ふくしま。GAPチャレンジの輪が広がっています。

高校	福島明成高等学校	耶麻農業高等学校	会津農林高等学校	岩瀬農業高等学校	相馬農業高等学校
	<b>JGAP</b> 米、トマト、ミニトマト、レタス、こまつな、しゅんぎく、ちんげんさい、もも、他	<b>JGAP</b> 米、そば	<b>GLOBALG.A.P.</b> 米、そば、小菊かぼちゃ	<b>GLOBALG.A.P.</b> 米、りんご、パッションフルーツ、きゅうり、レタス、じゃがいも、だいこん、ナシ、他	<b>JGAP</b> <b>ASIAGAP</b> 米、トマト、ミニトマト
	<b>JGAP</b> たまねぎ、なす、ねぎ、だいこん	<b>JGAP</b> 米	<b>JGAP</b> 米、トマト、ほうれんそう、日本なし	<b>JGAP</b> えだまめ	<b>JGAP</b> リーフレタス、トマト

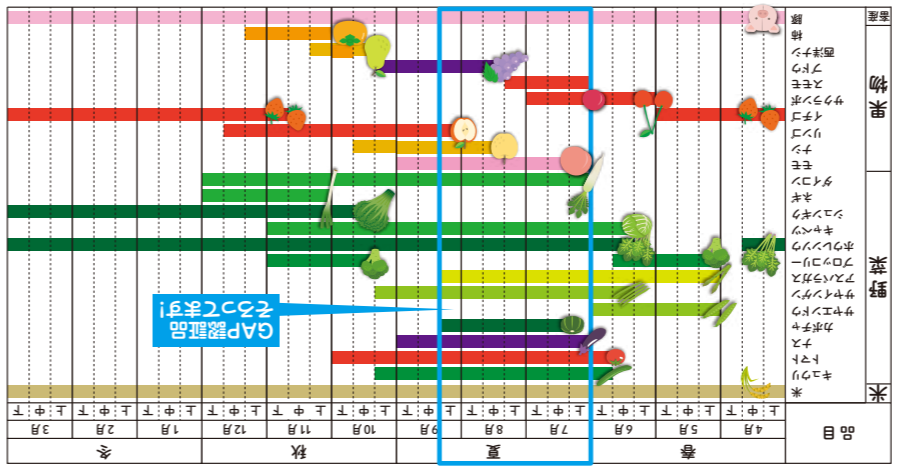
## 農業短期大学

農業総合センター農業短期大学
<b>JGAP</b>
米、トマト、ぶどう



最新情報が入手できる  
県内GAPに関する  
いつでもどこでも  
<https://gap-fukushima.jp>

GAPはその基準を満たしていることを認められており、選手村などで提供される食材は持続可能性に配慮したものと定められており、

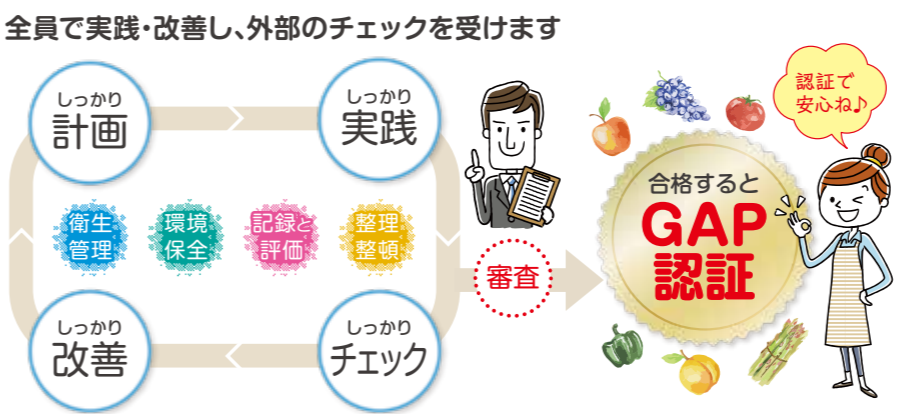


東京大会期間はおいしくふくしまが目白押し!

## 福島県は夏秋が旬の産地

## 持続可能な農業を目指すGAP

GAPとは、より良い農業経営を実現するため、食品安全や環境保全などに配慮した取組を行うとともに、これらの取組状況を記録簿や掲示物によって確認・表示しながら、農業改善活動を実践する取組です。



## GAPは東京2020オリンピック・パラリンピックの食材調達基準です

農産物の食材調達要件  
これらの要件を満たしているのがGAPです



「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」  
我々は、生産者の皆様と共に、より良い農業の証であるGAP日本一を目指して、その認証取得にチャレンジします。そして、東京2020オリンピック・パラリンピックへ食材を供給し、国内外へ向け、誇りと感謝を伝えます。



## 福島県はGAP日本一を目指しています!

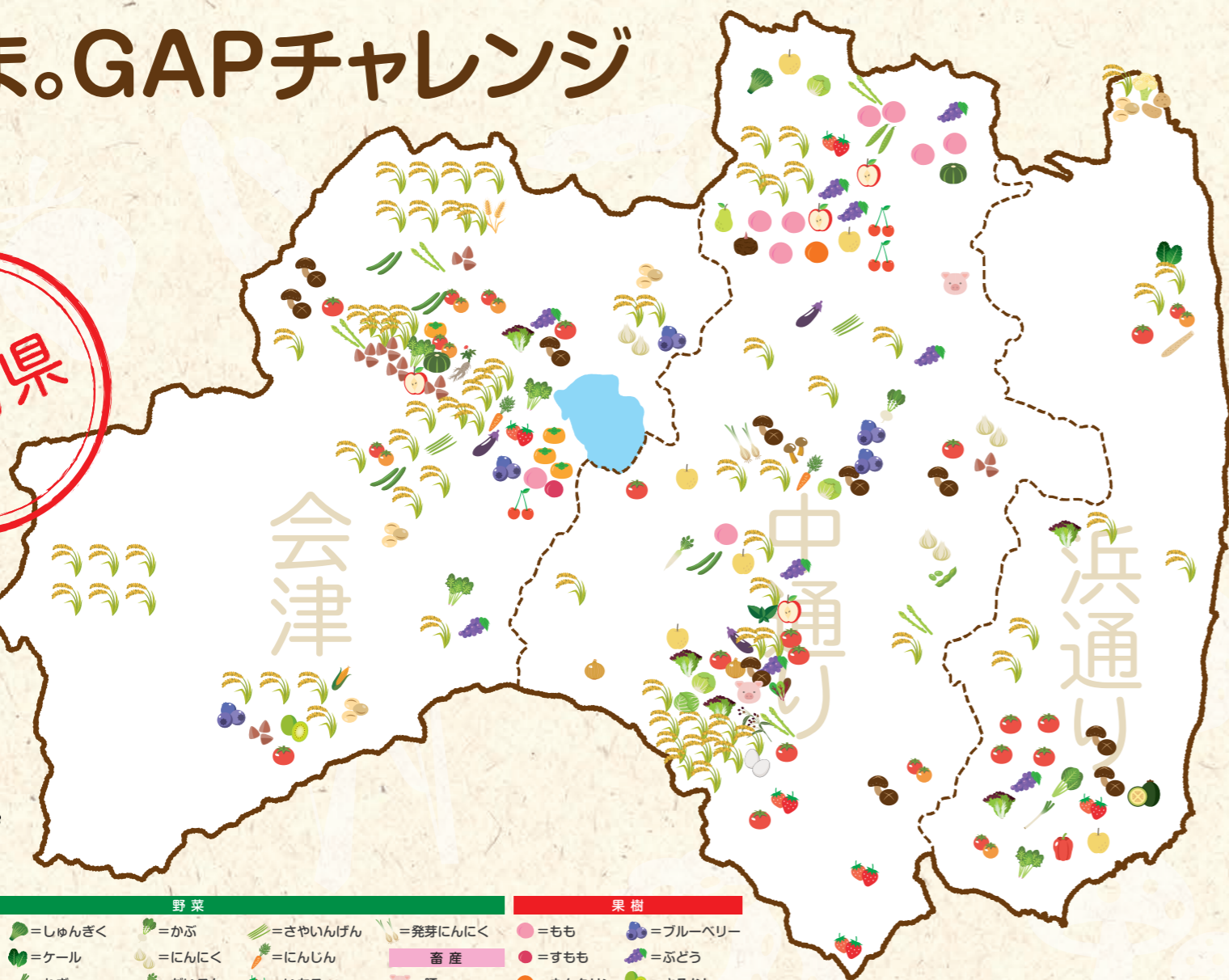
安全と品質の太鼓判!

# GAP

Good Agricultural Practice

お問合わせ先  
GAP実践のための支援制度の紹介などのアドバイスを行っています。  
福島県(環境保全農業課) 電話 024-521-7342

# ふくしま。GAPチャレンジ 推進中!



米、そば、麦、大豆	野菜	果樹
●=米	●=トマト	●=もも
●=そば	●=ミニトマト	●=すもも
●=大豆	●=ほうれんそう	●=ネクタリン
●=六条大麦	●=きゅうり	●=かき
●=はとむぎ	●=アスパラガス	●=りんご
●=しいたけ	●=キャベツ	●=日本なし
●=なめこ	●=レタス	●=西洋なし
	●=リーフレタス	●=さくらんぼ
	●=なす	
	●=たまねぎ	
	●=高麗人参	
	●=発芽にんにく	
	●=にんにく	
	●=だいごん	
	●=いちご	
	●=とうもろこし	
	●=さやえんどう	
	●=ごまつな	
	●=こんじゃくいも	
	●=豚	
	●=鶏卵	
	●=ブルーベリー	
	●=ぶどう	
	●=さるなし	
	●=フェイジョア	

(令和元年12月31日現在)  
●福島県環境保全農業課調べ

F=FGAP G=GLOBAL G.A.P. A=ASIA GAP J=JGAP

生産者インタビューはこちら <https://gap-fukushima.jp/gaptv/> **GAPチャレンジTV**

## 鈴木博之(ガンバ農園) 白河市

J  
●アスパラガス

**生産者からのメッセージ**  
取り組むことで農作業の安全性、危険度などいろんなところが見えてきたということが私たちにGAP認定を行う良いきっかけとなりました。現在はGAPを取得してガンバ農園としての取組がしっかりできていると自負しております。今後、他の品目なども順次GAP認定取得に向けて進捗していきたいと考えております。

## (有)すとろ農産 会津若松市

G  
●米

**生産者からのメッセージ**  
私たちの周りでも毎年GAP認定を取得される生産者さんが一軒ずつ増えてきています。GAPは言われているほど難しくなくて、もちろん努力は必要ですが、自分にあったGAPのスタイルを選んでトライしていれば良いのかなと思っています。最終的には「福島だから危険」ではなく、「福島だから安心」という認識にしていくのが大きな目標です。

## 小林茂行 喜多方市

F  
●アスパラガス ●六条大麦

**生産者からのメッセージ**  
私は農業に参入して間もないのですが、前職でISO生産工程管理という仕事に携わっていた関係で、農業でも同じような仕組みがあればと思い探していたときにGAPという存在に気づきました。県の担当の方に話を聞き、検討した結果、これは自分の農業に必要なものだという認識に至り、認定を取得することに決めました。

## (株)米夢の郷 会津美里町

J  
●米

**生産者からのメッセージ**  
2017年3月にJGAP認定を取得いたしました。GAPは記録の積み重ねだと感じています。その記録を活かして効率の良い作業ができるようになりました。GAP認定を取得した農場の農産物は安全安心だということをもっと皆さんに知っていただき、全国の人においしい会津米を食べていただきたいと思っています。

## (株)ABE Fruit(ABE果樹園) 福島市

F A  
●りんご ●もも ●ネクタリン

**生産者からのメッセージ**  
本当に安心・安全なおいしい果物をお届けさせていただくために、当園は「ASIAGAP」の認定を取得いたしました。当社は輸出も行っておりますので、GAP認定を持っていないと輸出対象にならない国もあり、認定取得は非常に有利になりました。将来的には、輸出拡大に向けてGLOBAL G.A.P.にチャレンジをしていきたいと考えています。

## 御稻プライマル(株) 本宮市

F J  
●米

**生産者からのメッセージ**  
自社の徹底した管理体制や、データ分析に加えGAPに取り組んだことにより、より現場での管理・意識が強化され、お客様の食卓へ「品質・安全」をお届けしたい意欲につながっています。その思いを胸に、米文化の継承と魅力を発信していきたいです。

## (同)ねっか 只見町

J  
●米

**生産者からのメッセージ**  
100%自社生産米で製造する米焼酎を作っています。弊社役員は、それぞれ農業に携わり農業法人を経営しています。そのメンバーで「只見米ブランド協議会」を立ち上げ、協議会会員6名全員がJGAP認定を取得することが出来ました。GAPの取組を通して、農産物の品質向上や農作業安全に対する意識を高め、地域の田園風景を次世代につなぐため、これからも一丸となって努力して参ります。

## 農業生産法人(株)緑里 川内村

F  
●米

**生産者からのメッセージ**  
GAPに取り組み始めた頃は、農業などの安全面や、農業に関わる様々な物事を管理するのに苦労しましたが、文章や会議で、社員に浸透させていく中で、効率的な取組ができるようになりました。GAPは難しい、手間がかかるという話を良く聞きますが、諦めずに取り組み、認定を取得することで農業への見方が変わり、良い農業の実現につながります。今後の目標としては、GAPの取組を通して、川内村の米のおいしさ、安全性を広げていきたいです。

## ASAKAMAI887GAP部会 (団体事務局所在地) 郡山市

F  
●米

**生産者からのメッセージ**  
ASAKAMAI887は、生産者21名で取組を始めましたが、当初はGAPについての知見がなく試行錯誤して取り組んでまいりました。現在は、生産者それぞれが農場の清掃、整理整頓、作業の省力化、作業の安全に関する取組を行っています。皆様へよりおいしく安全安心な米を届けたいと思っています。

## (有)M&A ふーあむ・わたなべ 三春町

J  
●しいたけ

**生産者からのメッセージ**  
認定取得のきっかけは、県の農林事務所の方からの紹介でした。書類作りや農場の整理など苦労もありましたが、結果として作業の見直しや会社のルール作りなどに役立ちました。GAP認定取得にあたっては難しさや苦労もありますが、GAP認定を取得する目的を明確にしてぜひ取り組んでいただければと思います。

## (有)とまとランドいわき いわき市

F J  
●トマト ●ミニトマト ●パプリカ

**生産者からのメッセージ**  
私たちはいわき市のトマト生産者の仲間とサンシャイントマト出荷協議会というものを作っております。これからの販売等を考えた時にGAPは必須だと考え、その中で県の後押しもありまして今回の各社一斉のGAP認定取得に至りました。GAPを通して蓄積されたデータを今後の生産に活かし、収量と売上を伸ばしていきたいと考えています。また、従業員の皆さんが喜んで働ける環境作りにも役立ってほしいと考えております。

## 福島さくら農業協同組合 いわきいちご部会高設栽培研究会 (団体事務局所在地) いわき市

F  
●いちご

**生産者からのメッセージ**  
GAP認定取得にあたり、生産から出荷までの一連の作業体系をGAPに基づいた実施方法に改める点で苦労しました。しかし、出荷の規格や体系を見直したことで、ルールや作業が非常に簡素化され、作業しやすくなりました。GAP認定品のいちごは、FGAPマークもしくは、さる1号のマークがプリントされていますので店頭で見かけた際はぜひ手に取って食べていただければと思います。

※記載情報は、福島県環境保全農業課による農業者等への意向調査の内容に基づいています。  
※認定情報は、令和元年12月31日時点のものです。